

## 10月29日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●ロシアとの外交路線を求めた米民主党議員 30 名が反発を受け要求を撤回(2022年10月25日)

アメリカ民主党議員たちがバイデン政権にロシア・ウクライナ紛争終結に向けた外交路線を求める書簡を送ったが反発を受け、過去に起草したものを間違えて送ったと言い訳し、撤回した。

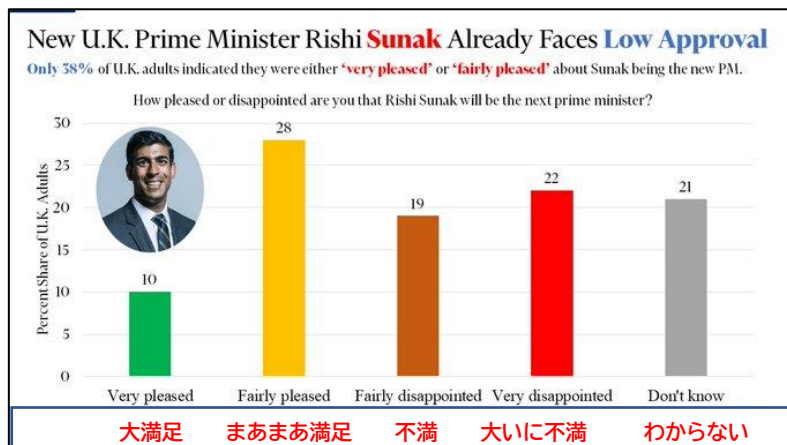


### ●ウクライナイギリス関係(2022年10月26日)

ゼレンスキーは、スナック新英国首相の就任を祝い、スナックはゼレンスキーとの電話会談で、キエフへの支援は継続されると述べたらしい。



スナックの支持率。成人のうち当選を喜ぶと答えたのは 38%。



## ●シヨイグがプーチンに兵の動員状況を報告(2022年10月28日)

ロシアの一部動員令、30万人の動員が完了したようです。国防省シヨイグがプーチン大統領に報告。



### シヨイグがプーチンに報告

- 30万人の動員が完了し、今後は志願者のみの受付になる
- 一部動員兵の平均年齢は35歳
- 訓練を終えた8万2千人の動員兵はすでに活動中の部隊に移動した
- 現在21万8千人が訓練中

### プーチンの発言

- 軍の拡大に伴って連絡事項などが確実に届くよう最短で対処して欲しい
- 一部動員に参加してくれた国民の忠誠心と愛国心への感謝を述べた

## ●スペインの Liu 記者、再びドンバス入り(2022年10月28日)

「西側メディアは、ロシアは街を破壊し、市民を脅迫していると嘘をついてる。実際は、ロシアは破壊されたマリウポリの街全体を再建している。水、電気が通り、ネットも使える。バスも運行してる。通りには兵士の姿はない」

<https://twitter.com/i/status/1586062554471616512>



●マリウポリの住民が語る アゾフ大隊の民族主義者らは地下壕にいる住民を追い出した(022年10月28日)

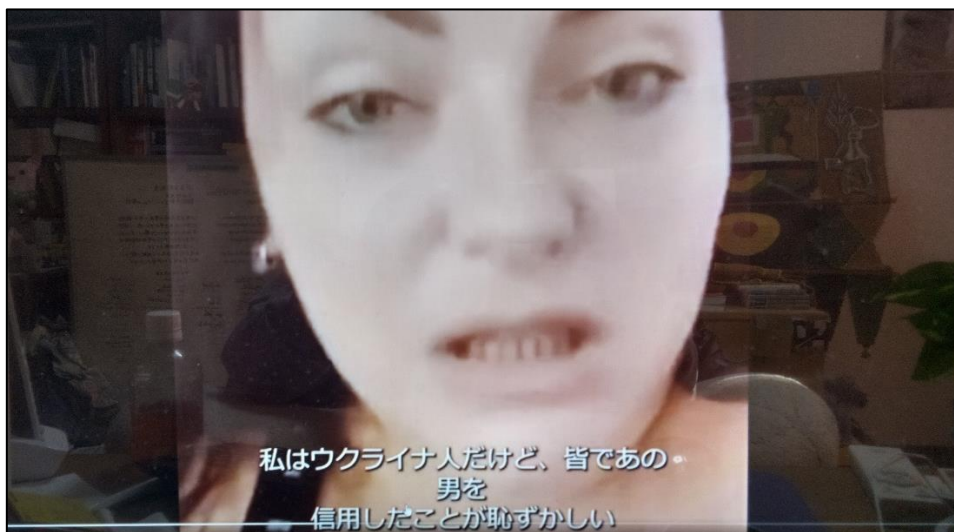
<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1585949379600723968?t=VN8FuoDG2fmGmWWEuBaaKA&s=09>



●ゼレンスキーについてのウクライナ女性の声(2022年10月28日)

「あの男を信用していたことが恥ずかしい」:ウクライナ人女性、ゼレンスキー氏は選挙公約を果たさなかったと語る。

<https://twitter.com/i/status/1585949775715000320>



●アメリカでも対ウクライナ支援に抗議の声(2022年10月28日)

ゼレンスキーに 800 億ドルもの戦争資金を送金する事に反対する市民がウクライナを応援する政治家に抗議。

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1586200738426150912?t=jCtp32oOTAw3kEefqO4Ebg&s=09>





### ●「きたない爆弾」についてのロシアの報道(2022年10月28日)

情報筋によると、キエフ政権はすでに「汚い爆弾」による挑発行為のための技術的準備を終えているとのこと。ウクライナ企業「ユジマシュ」が、トーチカUミサイルを使用して作った飛翔体をベースに、イスカンデルOTRKミサイルのダミーを準備した。

ダミー弾は、放射性物質が充填され、チェルノブイリ原発の立入禁止区域上空でウクライナ空軍が撃墜したとし、ロシア軍による核爆弾の発射だとして発表される予定。キエフ当局は、ダミー撃墜後、西側とウクライナのメディアに、イスカンデルとされるダミー弾の断片と電子機器を証拠として見せる予定。

※安齋注:RIA ノーボスチ (RIA Novosti) は、かつて存在したロシアの国有通信社で、現在は「ロシア・トゥデイ」のロシア国内向けブランド。

〈関連情報〉

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1585556481339949057?t=ymqzyfgDDmhF3XM3Zrusw&s=09](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1585556481339949057?t=ymqzyfgDDmhF3XM3Zrusw&s=09)



### ●在日ロシア大使館の見解(2022年10月28日)

日本政府は一部の閣僚の口を通じて、存在もしないロシアのウクライナでの核兵器使用計画について言及し続けている。

これとの関連で、ロシア政府はウクライナ領土における大量破壊兵器の使用を企てたことも、また企てるつもりもないことを改めて伝えておく。

ロシアの特別軍事作戦が始まる以前から、ウクライナ政府が核兵器保有への危険な野心を公言していたことにも、日本は注目した方がよいだろう。今日ウクライナ指導部の要求は、ロシアに対する先制攻撃を求めるほど目に余るものにまでなっている。



### ●ハイパー・インフレに対するフランスの抗議デモ(2022年10月28日)

<https://twitter.com/yukariATL/status/1582172649400061952?t=Om0Mg0EEiS7mAUpdEtEWIq&s=09>



## ●ウクライナでは信じれない市民への市民のリンチ(2022年10月28日)

[投稿者コメント]こんにちは。私は、ロシアを一方向的に非難するニュースしか流れないことに違和感を感じています。

今日は、ネットで見つけた画像をたくさん貼り付けています。

どんな画像かというと、ウクライナ市民がラップのようなもので柱にグルグル巻きに縛り(しばり)付けられているというものです。

ズボンも下着もずり下げられて、下半身をむき出しにされて、そこを棒やムチでめった打ち、又は執拗に蹴りつけられる様子がわかります。

ウクライナでは日常的にあるようなのです。

軍隊ではなく一般市民がリンチしている動画もたくさんあります。

こんな動画が出回っていることが、この国とこの国民の性質を教えてくれているように思えるのです。このようなことが出来るネオナチの思想を持ったウクライナ人が、難民として日本に入ってきているとしたら怖いのです。

皆さんはどんなふうを受け止めますか？

<https://ameblo.jp/hidemama1009/entry-12737152076.html>



## ●国連も国際司法裁判所もアメリカの影響下にある(2022年10月28日)

投稿者コメント:ウクライナでの紛争の当事国は、ロシアと反ロシアのアメリカと NATO です。世界核戦争の1分前。時計を見てください。

国連は、ウクライナ領土での紛争の当事者について気まずそうに沈黙を守りました。ブリーフィング中、国際司法裁判所の所長であるジョアン・ドノヒューは、裁判所の仕事量を理由に、ウクライナ領土での紛争の当事者についての回答を拒否し、質問を科学者に転送しました!!

この質問は、中立国の権利と義務を扱う 1907 年の条約に関連して行われました。条約に従う場合、中立国は自国の領土で軍事分遣隊を形成したり、募集センターを開設したり、紛争当事者の 1 人に武器を譲渡したりすることはできません。



そして、もし国が中立の地位に適合しない場合、それは紛争の参加者です。



## ●ウクライナ研究者が福島大学で研修(投稿:2022年10月27日)

投稿者コメント:私が偶然見つけた記事によると、「汚い爆弾」を作っている可能性があるウクライナ国立科学アカデミー原子力研究所の研究者が、JICA を通じて、ちょうど今、日本の福島大学等で研修を受けているそうです。JICA はウクライナに研究機材の供与も行っているとのこと。

7月29日、ウクライナから、ウクライナ国立科学アカデミー原子力研究所の研究者、オレナ・ブルドー博士が来日しました。原子力災害後のチェルノブイリの環境影響評価技術を習得するため、12月上旬までの約4か月間、福島大学環境放射能研究所(IER)等で研修を受けます。

1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故から36年。ウクライナ政府は立入禁止区域の再編を計画しています。立入禁止区域では、クーリングポンド(原発への冷却水供給池)の水位低下で、環境や生態系の変化が予想されています。再編に向け、放射性物質の持続的なモニタリングが必要となります。

JICA は、2008年から科学技術振興機構(JST)と連携して、開発途上国と共同で科学技術研究を進めるプログラム「地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)」を実施しています。このプログラムの枠組みで、2017年4月から2023年3月まで、福島大学やウクライナ側の行政・研究機関による国際共同研究プロジェクトとして、チェルノブイリの立入禁止区域の再編や活用に向けた放射性物質の持続的なモニタリング技術の支援を行っており、ブルドー博士の研修もその一環として実施されます。ロシアによるウクライナ侵攻でウクライナ国内の研究環境が悪化、日本国内で技術研修を受け入れることになりました。大きな被害を受けたウクライナの研究機関には研究機材の供与も行います。

ブルドー博士は野生動物、特にネズミなどのげっ歯類への放射線の影響を研究しています。福島大学をはじめ日本国内の大学で最新機器の利用法や染色体解析の手法について研修を受ける予定で、ウクライナ国内で野生動物への放射線の影響を持続的に評価できる技術の取得を目指します。福島第一原子力発電所や県内の被災地域で、除染や復興への取り組み、放射能汚染の現状についても学ぶ予定です。

「このような研修の機会を得ることができ、とてもうれしく思っています。初めての土地で不安もありますが、多くの人々が研修準備に尽力してくれました。新たな技術を学び、研究し、チェルノブイリに生息する動物の染色体レベルでの放射線の影響を明らかにしたいと考えています。そしてこの科学者として最高の経験が、母国ウクライナへの貢献につながると期待しています。」羽田空港に到着したばかりのブルドー博士は笑顔で取材に応じ、研修への意気込みをそう話しました。



## ●プーチン大統領「世界は第二次世界大戦以来、最も危険な 10 年」に突入している」 (2022 年 10 月 28 日)

ロシアのウラジミール・プーチン大統領は、ヴァルダイ国際討論クラブの会合に参加しました。

プーチンのヴァイダル演説は西側の覇権に言及。人類の大多数にとり重要な話題に触れたと、ル・フィガロの読者が指摘。「億万長者」の外の人々は、地球の GDP の 70%以上を生産しているが、西側は依然として彼らを支配したいと考えている。

なお、InoSMI の資料には外国メディアの評価のみが含まれており、InoSMI の編集者の立場を反映するものではありません

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1801.htm?s=09>



## ●原子力市場、アメリカからロシアへ(2022 年 10 月 28 日)

国際原子力機関のグロッシ事務局長は、「米国は世界の商業用原子炉市場の主導権を失い、今やロシアに移ってしまった」と述べた。この状況をアメリカの挑戦と呼んだ。グロッシ氏は、ロスアトムは現在、世界市場における商業用原子力技術の「主要な供給者」と述べた。





## ●ローマのデモ参加者の話(2022年10月28日)

(男性 A)ロシアからどれだけのガスを輸入しているか知っていますか？全体の輸入量の42%、310億m<sup>3</sup>ですよ。EUやNATOに追随して、最大のガス供給元を失うのがまともな話なんですか？

燃料価格は天井知らず。見通しも民営化も先が見えない。自殺行為だ！自殺幫助だ！

(男性 B)パートナーと一緒にシャワーを浴び、ラジオのボリュームを落とし、オーバーを着て、何も持たない、それが幸せだそうだ、君は。だが彼らはそうじゃない！これがヨーロッパ視点だ。ジョゼップ・ボレル(EU外相)のヨーロッパ視点だ。

(男性 C)ロシアと対立するという決定が僕たちを直撃している。請求書は上がり、多くの取引がストップ、労働者は月末まで暮らしが持たない。もうたくさんだ！と言うために僕たちはここにいるんだ。

(男性 D)我々は平和のためにここにいる。本当の平和のために。我々は「武器を送るな」と言いたいんだ。NATOと米国がウクライナにどんどん武器を与えているのを我々は知っているから。

ゼレンスキーは戦争を終わらせたくないと見える。

彼はプーチンが辞任して別な大統領になるまで戦争をやめないと言ったが、それでは我々は第3次世界大戦に引きずり込まれるだけだろう。

(男性 E)制裁をやめることを求める。なぜなら、安価なガスがあってこそ国は生き返り、持ちこたえることができるからだ。米国のガスではそうはならない。フランス人はそのことに気づいた。(フランスの)経済大臣は米国に4倍のガス価格を支払うなどあり得ないと言った。イタリアはそんなことがどうしてできるだろうか？

恥を知れ！EUの指導者たちは、祖国と人民を売り渡し、裏切っているのだ。

## ●スペインのマドリードでも大きなデモ(2022年10月28日)

「スペインでは賃金と年金の引き上げが要求されている。政府はウクライナに武器や援助を送る金はあるが、スペイン国民の生活水準を向上させる金はないのだ！」。

<https://twitter.com/CarlosAJimnez4/status/1581326589836464128?t=sO580RAHmMmOw7I-bURBgQ&s=09>

